

第九十回帝國議會
衆議院

罹災都市借地借家臨時處理法案委員會會議錄(速記)第八回

付託議案

罹災都市借地借家臨時處理法案(政府提出、貴族院送付)
訴訟費用等臨時措置法の一部を改正する法律案(政府提出、貴族院送付)
辯護士及び辯護士試験の資格の特例に關する法律案(政府提出、貴族院送付)

昭和二十一年八月九日(金曜日)午前十一時二十七分開議

出席委員

委員長 本田 英作君
理事 石原 圓吉君 理事 鈴木 仙八君
理事 林 連君 理事 武藤 十郎君
有田 二郎君 九鬼 紋十郎君
佃 良一君 金井 芳次君
酒井 俊雄君 中田 榮太郎君
出席政府委員
司法參與官 中村 又一君
司法事務官 佐藤 藤佐君

本日ノ會議ニ付シタ議案

訴訟費用等臨時措置法の一部を改正する法律案(政府提出、貴族院送付)
辯護士及び辯護士試験の資格の特例に關する法律案(政府提出、貴族院送付)

○本田委員長 開會致シマス、併シニ

ナツテ居リマスル辯護士及び辯護士試験の資格の特例に關する法律案ニ付キ質問ヲ始めマス——林連君

○林(連)委員 二、三點當局ニ御伺ヒ

シテ見タイト思ヒマス、先ツ本法ニ依ツテ資格ヲ附與セラレル者ノ見込數ヲ承リタイト思ヒマス

○中村政府委員 本案ニ依リ資格審査ノ對象トナル人員、即チ朝鮮辯護士令ニ依ツテ合格者ハ總計五十六名デアリマシテ、朝鮮辯護士試験デ其ノ外内地人僅カニ五名居ル譯デアリマス
○林(連)委員 現ニ朝鮮辯護士ヲ開業シテ居ッタル者ノ數、及ビ序デデアリマスガ、現在内地ニ於テ辯護士ヲ開業シテ居ル者ノ數等ヲ承リタイト思ヒマス

○中村政府委員 朝鮮ニ於ケル辯護士ノ人員數ハ正確ナル數字ガ判然致シテナラナイノデアリマスルガ、昭和十七年十月十五日ノ大日本辯護士會聯合會發行ノ、大日本辯護士名簿ニ依ツテ調べル所ニ依リマスルト、昭和十七年六月一日現在ノ人員數ハ三百五十一名デアツテ、其ノ内地人ハ四百四十四名トナツラ居リマス、ソコデ終戰當時ノ人員ニハ多少ノ増減ガアルモノト思ハレマスガ、其ノ點今日明確ナル數字ノ持合ハセガナイノデアリマス

○林(連)委員 本法第一條ニ「審査委員會の設置を經た者」トナツテ居リマスガ、此ノ審査委員會ノ組織、ソレカラ審査委員會ヲ開ク時期、及ビ年ニ何回開ク豫定アルカ、此ノ點ヲ御伺ヒ致シマス

○中村政府委員 御答ヘ致シマス、現行ノ辯護士審査委員會ノ官制ハ、委員會ノ會長一人、委員六人トナツテ居リマシテ、會長ニハ司法次官ガ之ニ當リ、委員ハ内三名ガ司法部内ノ高等官、從來ハ刑事局長ト大審院判事、大審院檢事、是ガ當リマシテ、外三名ハ辯護士ヨ

リ選ビ、從來東京三辯護士會ノ會長ヲ充テテ居ッタルヤウナ次第デアリマス、外ニ四名ノ準備委員ト云フモノノ設ケガアリマシテ、内二名ハ司法部内ノ高等官、從來ハ大審院判事及ビ大審院檢事ヲ充テ、内二名ハヤハリ辯護士會ヨリ之ニ充テテ居ッタルデアリマス、サウシテ此ノ委員會ハ、會長ト委員ト合ハセテ五名以上出席ヲ必要ト致シ、議事ハ多數決ニ依ツテ決シテ居ッタルデアリマス、ソコデ申上ゲテ置カナケレバ

ナラヌハ、本法案ガ成立致シマスレバ、從來ノ組織ノ中ニ此ノ朝鮮辯護士及ビ其ノ試験ノ銓衡審議ニ關スル要綱ヲ加ヘマシテ審議セラレ、コトニナリマスルノデ、委員會ノ機能ガ擴大サレテ結果トナルノデアリマス、ソコデ更ニ幹事若干名ヲ置クコトト致シマシテ、司法省人事課長、刑事局事務官等適任者ヲ以テ之ニ充テマシテ、委員ノ輔佐ヲナサシメ、萬全ノ目的ヲ達シ得ルヤウニ圖リタイト存ジテ居リマス

尙ホ本年ハ年末マデノ間ニ一回ダケハ之ヲ開クモノト豫定致シテ居リマスルガ、次回即チ明年ハ一定ノ時期ニ一回ハ必ズ之ヲ開キ、必要ニ依リマシテ或ハ二回モ開クコトニナルカトモ考ヘマスルガ、對象ガ僅カノ員數デモアリマスルカラ、其ノ必要モ或ハナイカトモ考ヘマス、茲ニ一言附加ヘテ置キマスルガ、第一回ノ御質問ニ、内地辯護士ノ員數ノ御尋ネガアツタルデアリマスルガ、内地ニ於ケル辯護士員數ハ、昭和二十一年五月三十一日現在ニ於キマシテ五千四百四十九名デアリマシテ、昨年ノ八月三十一日ハ五千九十七名デアリマシタカラ、十箇月バカリノ間ニ三百五十二名ノ増加トナジテ居リマス、相當今後増加スルモノト思ハレテ居リマス

○林(連)委員 モウ一ツ、終戰前ニ於テ引揚ゲマシタル者デ、朝鮮辯護士ノ資格ヲ持ツテ居ル者ノ規定ヲ見ナイノデアリマスルガ、是ハ今引揚ゲタル者ト同様ニ取扱ハレルカドウカ、此ノ點ヲ御伺ヒ致シマス

○中村政府委員 御答ヘ致シマス、御尋ネノヤウナ事實ガ考ヘラレルノハ當然デアリマスルガ、本法案ハ引揚ゲタル救済スルト云フコトヲ第一目的ニ考ヘマシテ、從來朝鮮辯護士ノ資格ヲ持ツテ居ル者全員ニ對シテ、適用スル目的トハナツテ居ナイノデアリマス

○林(連)委員 次ニ從來朝鮮人デ内地ニ於テ辯護士ヲ開業シテ居ル者ガ大分居ルト思ヒマスガ、是ハ本法ノ影響ハ何モ受ケナイデアリマセウカ
○中村政府委員 御答ヘ致シマス、内地ニ引續イテ開業從事シテ居リマスル朝鮮人ノ内地辯護士ニ對シマシテハ、何等ノ影響モ受ケナイコトニ考ヘテ居リマス

○林(連)委員 本法ハ朝鮮ノ辯護士ダケニナツテ居リマスガ、色々ナ關係カラ考ヘルト、臺灣ヤ關東州等ニ於ケル辯護士ニ付テモ、同様ノ事情ガアリハシナイカト思ハレルノデアリマスガ、是等ハドウ云フコトニナツテ取扱ハレルカ、之ヲ承リタイト思ヒマス

○中村政府委員 從來臺灣並ニ關東州ナドノ場所ニ於キマシテハ、朝鮮辯護士令ノ如ク、特殊ノ辯護士試験制度ハナカツタルデアリマス、隨テ是等ノ土地ニ辯護士業ニ從事致シテ居ッタル達ハ、所謂内地ノ辯護士法ニ依リ資格ヲ持ツタル辯護士デアリマシタカラ、ソレ等ノ人達ニ對シテ考慮スル必要ガナカツタルデアリマス
○林(連)委員 最後ニモウ一點御伺ヒシタイト思フノデアリマスガ、朝鮮ニ於キマシテモ公證人ヤ執達吏、司法書士制度ハ、形ハ違ヒマシテモ行ハレテ居ッタルと思フノデアリマスガ、是等ニ對スル御取扱ヒハドウナツテ居リマスカ
○中村政府委員 御答ヘ致シマス、公證人ニ付キマシテハ朝鮮公證人令、關東州公證人令ニ依リ、公證人タル資格ヲ有スル者ハ、必ズシモ内地ノ公證人法ニ依リ資格者ト言ヒ得ナイ譯デアリマスガ、只今デハ未ダ是等ガ實際上ノ問題トスル事態ニマデ立至ツテ居ナイノデ、考慮致シテ居ナイノデアリマスガ、是ガ一ツノ事實ノ必要ニ迫ララル、問題トナリマスレバ、御尋ネノヤウナ法規ノ制定ニ對シテ考慮ヲナスコトニナラナケレバナラスト存ジマス、執達吏ニ付テハ朝鮮、臺灣ニ於キマシテハ、内地ノ執達吏規則ノ執達吏ニ相當スル者ハ全然ナイノデアリマス、即チ法院書記等ヲシテ、執達吏事務取扱者、執達吏職務執行者トシテ居ルノデアリマシテ、マダ司法書記ニ付キマシテハ資格ノ限定ナドハ全然ナイノデアリマスルカラ、御尋ネノヤウナル特例

ガ十分吞込メナカツタノデ、御納得ノ
行クヤウナ御答ヘヨシナカツタノハ洵

ニ申譯アリマセズ、只今ノ御尋ネノ御趣旨ニ依リマスルト、本法施行後法令ノ廢止ニ依ツテ資格ガ初メテ回復シタ、サウ云フ者ニ對シテ第三條ガ適用

アルカト云フコトニナルノデアリマス
ガ、ソレハ全然適用ハアリマセヌ、詰
リ本法施行マデニ資格ヲ回復シテ居ル

者デナケレバ適用ガナイノデアリマ
ス、本法施行後ニ於テ初メテ資格ヲ回
復シタト云フ者ニ付テハ、第三條ハ適
用サレナイノデアリマス

○酒井委員　實質カラ見ルト僅カナ時
ノ違ヒデ、ドウモ本法適用後ニ資格ヲ
回復シ得ル者、詰リ法令ガ廢止サレ、

停止サレタ場合ニ、其ノ廢止サレ、停止サレタ法令ニ依ツテ罪ヲ得テ居ツタ者、是ハ非常ニ救ハレヌコトニナツ

テ、實上ハ同シヤウナ關係ヲアリナ
ガラ、此ノ人達ハ救ハレヌコトニナリ
マシテ、非常ニ氣ノ毒ダト思ヒマスル
ケレドモ、何トカソレヲ救フヤウナ風

ニ、此ノ條文ヲ改メル御意思ハナイカ
ドウカ、詰リ法律施行ノ日マデト云フ、
之ヲ抜イタラドウカト思ヒマスガ、サ

マセウカ
○中村政府委員 第三條ニ對シマシテ
非常ナ御熱心ナ御質疑アリマスル
ウスルト何カ差障リカアルノテコサイ

ガ、論的ニハ御質疑ノヤウナ御主張ハ
一應御尤モニモ考ヘラレルノデゴザイ
マス、併シ此ノ法案ノ對象トナル者

ハ、最初ヨリ申上ゲマシタ通り、明確ナル數字ハ僅カニ五十六人ヲ救済スル法案デアアルノデアリマス、隨テ御心配ノヤウナ事態ハ比ノ法案カラハ生レテ

來ナイノデアリマス、ドウカ御諒承ヲ
願ヒタイ次第デアリマス

○酒井委員 朝鮮ニ於ケル判事、檢事、是等ノ人ガ引揚ゲテ來ラレタ場合ニ、コチラデハヤハリ内地ノ判事、檢事ニ採用スルト云フヤウナ制度デモアリマスルカ、ドウ云フ風ニナツテ居リマスカ、一寸御伺ヒシタイと思ヒマス

○中村政府委員 只今御尋ネノ朝鮮ニ於ケル判事ノ内地引揚者ニ對シマシテハ、朝鮮總督府ノ職務整理事務所ヨリ提出セラル、上申書ニ基キマシテ、其ノ引揚ゲタル判事ニ對シマシテハ、出來ルダケ之ヲ採用致シ、全國ニ復活致シテ居リマスル區裁判所或ハ支部ノ職員トシテ之ヲ補充シツ、アルヤウナ狀況デゴザイマス

○酒井委員 朝鮮人ニシテ朝鮮デ辯護士ヲモツテ居ツタ者ハ——從來カラ申シマスルト内地ノ辯護士資格ト朝鮮ノ辯護士資格トハ資格條件、試験制度ナドガ變ツテ居リマシテ、此ノ方法ノ精神カラ言ヘバ、其ノ試験制度ナドモ同ジヤウナ程度ダト云フ所カラ立案サレタと思ヒマスガ、最近ハ朝鮮辯護士ノ試験ノ方ガ取り易カッタト云フコトガ一般ニ言ハレテ居リマス、程度ガ少シ低イノデヤナイカト思ヒマス、サウシテ豫備試験カ何カノ資格モ、高等試験トハ違ツテ居ナカッタカト思フノデアリマスガ、サウ云フ點デ實際ハ内地ノ辯護士ガヤレルナラヤリタイケレドモ、内地ノ辯護士ハ資格ガ取りニクイ、朝鮮ノ辯護士ノ資格ヲ取ツテ、心ナラズモ向フデヤツテ居ツタト云フヤウナ狀態デアリマス、ソコヘ斯ウ云フ法律ガ出來スト、朝鮮ニ居ル辯護士ハ内地デ出來ルナラ内地ヘ歸リタイト云フコトヲ誰シモ考ヘル譯デアリマス、ソコデ朝鮮人ノ辯護士ガ内地ヘヤツテ來タ場合ニハ、是ハ引揚ト云フ方ニハスラ

ヌト思ヒマスガ、内地デ資格ヲ得ルコトガ出來ルカドウカ、一寸御尋ネ致シタイ

○中村政府委員 御答ヘ致シマス、只今第一點ニ朝鮮辯護士ハ、内地デ試験ガ受カラナイ人デモ、朝鮮デハ幾ラカ試験ガ低イノデ、之ニ受カルト云フヤウナ意味ノ御尋ネデアリマシタガ、實際ハ内地デ、例ヘバ高等試験ノ行政料ヲ取ツタト云フ人ガ、朝鮮ニ於キマシテ朝鮮辯護士令ニ基キ試験ヲ受ケテ落ちタト云フ事實モ幾ツモ實例ガアルノデアリマス、更ニ數字ヲ以テ申上ゲマスルト、話ハ逆デアリマシテ、内地ノ辯護士試験ヨリモ朝鮮ノ辯護士試験ノ方ガムジカシカッタノデアリマス、現ニ大正十一年ヨリ昭和十年迄ノ朝鮮辯護士試験ノ受験者數ハ二千八百九十八名デアリマシテ、合格者ノ數ハ僅ニ百三名デアアル、其ノ中ノ内地人ハ四十四名デアアル、昭和十一年ヨリ十九年迄ノ受験者總數ハ二千九百二十八人デアツテ、合格者ハ九十六人デアアル、其ノ中ニ内地人ノ合格者ハ十二名トナツテ居リマス、斯クノ如ク試験ト云フモノガ非常ニ困難ナモノデアツタノデアリマス、更ニ第二點トシテノ御尋ネ、朝鮮人デ朝鮮デ辯護士ノ資格ヲ持ツタ者ガ、日本ノ内地ニ引揚者トシテ其ノ取扱ヲ考ヘ得ラレルカト云フ意味デアツタと思ヒマスルガ、此ノ引揚者トハヤハリ朝鮮ニ現在定住シテ居ラレル辯護士資格者ノ朝鮮人ガ、此ノ内地ニ引揚ゲテ來ルノハ含マレテ居ナイノデアリマス、是ハハツキリ此ノ法令ノ第四條ニ書イテアルノデゴザイマスルガ、朝鮮人ハ四國、九州、北海道、本州其ノ他附屬島嶼ノ引揚ゲノ中ニ含マレテ居ナイト云フコトヲ御諒承願ヒタイと思

ヒマス

○酒井委員 試験ノ難易ノ點ハ私共見聞キシテ居リマス點ニ付テ數量ハ其ノ通りデアリマスガ、内地ノ試験ガ難カシイト云フノデ向フト兼ネテ願書ヲ出スト云フヤウナモノハ随分アツノデアリマス、併シ是ハ大シタ問題デアハアリマセヌカラ、是レ以上御聽キシマセヌ

今度ハ少シ此ノ法案カラ問題ガ離レルカモ知レマセヌガ、關聯シテ居ルノデ御尋ネシタイと思ヒマス、辯護士試験ノ制度ニ付キマシテハ、各點カラ色々ドウモ缺點モアリ、非難モアルヤウニ考ヘテ居リマス、私共ノ考ヘデハ、是ハ判檢事試験ト一緒ニシテシマツテ、サウシテ一年半ミツチリ修習スル、サウシテ兩方ノ資格ヲ得サセテ、辯護士ニナリタイ者ハ辯護士ニナルト判檢事ニナリタイモノハ判檢事ニナルト云フヤウナ取扱ヲシタラドウカト思フノデスガ、サウ云フヤウナ御考ヘハゴザイマセヌデセウカ

○中村政府委員 段々世ノ中モ變ツテ參ツテ居リマス今日、御尋ネノヤウナ御議論モ相當根據ノ深イ事柄デアラウト考ヘマス、ソコデ司法當局ト致シマシテモ、只今御尋ネノヤウナ考ヘ方モ十分ニ調査研究ヲ致スベキコト存ジマス

○酒井委員 現ニ私ノ所モ燒出サレテ居リマスガ、試補トシテ置イテ吳レト云フヤウナコトヲ言ウテ來テ居ル、戰災後辯護士ノ法律事務所ナルモノモ相當被害ガアリマシテ、ミツチリト試補ニ對シテ指導ガ出來ルカドウカ、食糧事情モアリ、色々不便デアアル、辯護士試補ガ十分修業スルニハ、特ニ戰災後ハ考慮ヲシテ戴ク必要ガアルノデヤナイ

カ、實際上ノ研究ガ出來ナイヤウナ事實上ノ狀態ニナツテ居ルト私ハ思ヒマスノデ、質問シタ譯デアリマス、大變能ク分リマシタ、有難ウゴザイマシタ、此ノ程度デ終リマス

○本田委員長 ソレデハ本日ハ是ニテ散會致シマシテ、月曜日十時ヨリ續行致シマス

午後零時五分散會

昭和二十一年八月九日

昭和二十一年八月九日

昭和二十一年八月九日

昭和二十一年八月九日